

第1章 水道事業ビジョンについて

1 策定の趣旨

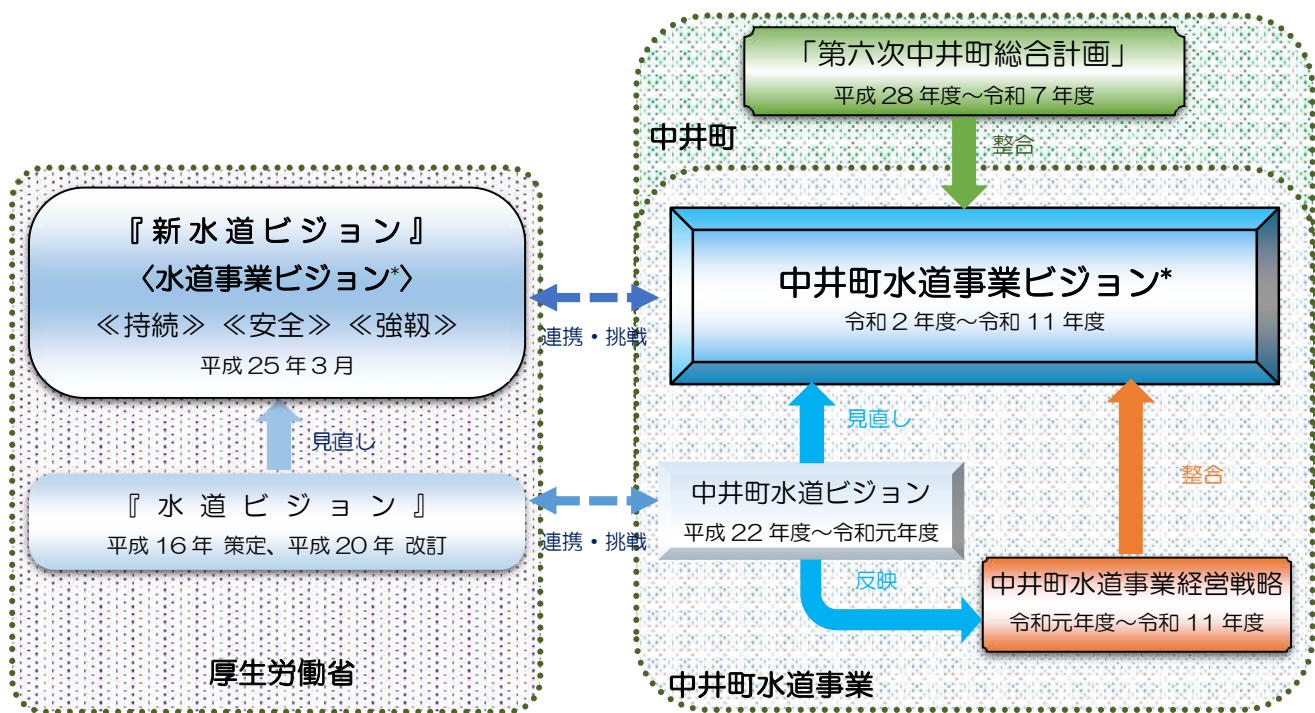
国内の水道は、少子高齢化に起因する人口減少時代が到来しているなかで、高度経済成長期に急速に整備した水道施設の大規模更新期を迎えつつあります。また、平成23年3月に東日本大震災という未曾有の災害を経験したことにより、それまで想定していなかった新たな危機に直面し、かつて経験したことのない厳しい状況を迎えています。このため、現世代の水道事業者には、水道事業*の運営基盤を強化し、水道を健全な状態で次世代に引き継いでいくことが強く求められています。

これに対し、厚生労働省（国）では、今日の水道事業*を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、これまでの「水道ビジョン（平成16年策定、平成20年改訂）」を全面的に見直し、平成25年3月に『新水道ビジョン』を策定・公表しています。このなかで、水道関係者に今後の水道の理想像を共有し、役割分担に応じた取り組みに挑戦していくことを求めています。今後も全ての国民が水道の恩恵を享受し続けていくために、50年、100年先の水道事業*の将来像を明示して、『持続』『安全』『強靱』の観点から、それを具現化する施策を提示するものとしています。

このような背景から、中井町では平成22年3月に策定した「中井町水道ビジョン」（以下、「前回ビジョン」とします。）が目標年度を迎えるにあたり、これまでの取り組み状況を振り返るとともに、『新水道ビジョン』の内容を踏まえた『中井町水道事業ビジョン*』（以下、「本ビジョン」とします。）を策定することにしました。この計画を水道事業*の運営指針とし、これからの水道の基本方針と取り組む施策を示します。

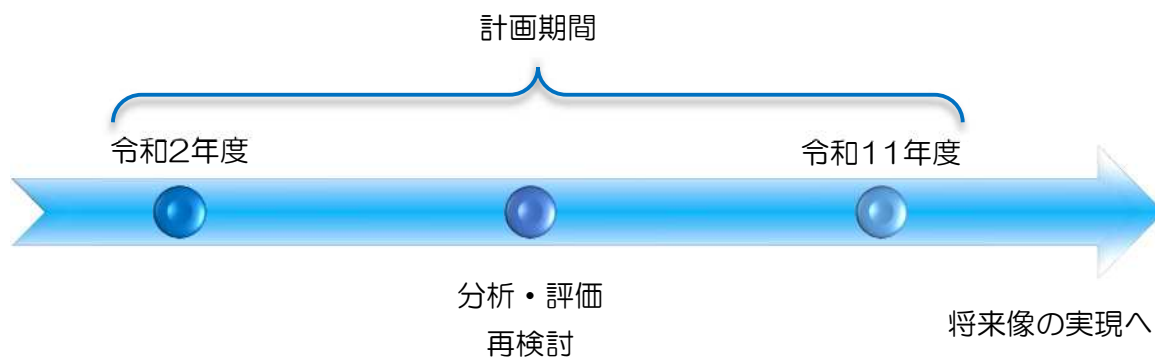
2 計画の位置付けと期間

中井町では、町の最上位計画として「第六次中井町総合計画」を策定しています。本ビジョンでは前回ビジョンを振り返り、枠組みや施策などの面で町の上位計画と整合を図りつつ、『新水道ビジョン』を基に水道事業*の目指すべき将来像とそれを見据えた基本理念を定め、その実現に向けた中・長期的な取り組みや施策をまとめていきます。



～ 中井町水道事業ビジョン*の位置づけ ～

本ビジョンの計画期間は、令和2年度を初年度として、令和11年度までの10年間とします。さらに、50年、100年先の将来を見据えつつ、計画目標年度以降の長期的な構想についても視野に入れることとします。



～ 中井町水道事業ビジョン*の計画期間 ～